

出張町長室（木佐木校区／第1回）開催結果概要

- 1 開催日時：令和7年12月14日（日）
第1部 13時00分～14時00分
第2部 参加がなかったため中止
- 2 場開催所：大木町総合体育館研修室
- 3 参加者数：3名（第1部3名／第2部参加者なし）
- 4 主な意見と回答

○総合体育館は空調設置の設計が行われているということですが、小学校、中学校の体育館の空調設置についてはどのようにお考えですか。

（町長）小中学校施設については大規模改修や修繕を計画的に実施しています。来年度は大木中学校の大規模工事になっていますが、体育館の空調が先ではないかということで調整をしているところです。

○物価高騰対策についてお米券が話題ですが、大木町はどんな形にされるのですか。

（町長）お米券については前回、国から交付金で非課税世帯約1,000世帯ほどですが配布、支給をしたところです。今回については生活支援ということで、もう少し幅広く使えるようなものを考えています。お米だけではなく生活用品全てが高騰していますので。ただ、一番早く届けられるのは現金ですが、現金だと町外に流出する可能性もありますので、商品券の方で考えています。

○アクアスを毎日利用していますが、他の利用者から「新しくしたらもうお客さんいなくなるよね」、「もう終わりだよ」と毎日聞きます。最終的に決まった通りに進められるのか、もう何の意見も受けてもらえないのかというところが一番心配です。

（町長）毎日利用されていることに感謝いたします。答えられる範囲でお答えしますが、アクアスの施設は、ご承知のとおり27年を経過している施設になっています。当初の設計では60年程度持たせる設計でしたが、今の施設状態では、設置責任者、管理責任者として長期的な運用はできないと判断しています。平成29年の調査では18億円以上の費用がかかると試算されました。調査では令和元年度から令和7年度までに本来ならば7億3千万円程度の改修工事を行う必要がありましたが、財源の問題、また、改修となると一定期間休館も必要となるなどの問題もあり実施できませんでした。しかしながら、議会や監査から意見や指摘があり、令和5年度に外部委員会を設置し様々な立場からの意見をいただき、一次評価、二次評価を通じてアクアスを閉鎖する一方、泉質がよいことや利用者の要望もあり温泉は残すべきとの答申を得ました。答申では温浴施設として、現在の建物が3,000㎡程度ありますが、その4分の1の800㎡程度でも十分な機能を持た

せることができるとの提案があり、その提案を尊重することとしました。施設が大きいとそれだけ維持管理費がかかります。修繕費も去年まで毎年500万円をかけていました。また、入館料は当然いただいておりますが、修繕費や維持管理をするための光熱費などは、町から指定管理料を支払っており、全体でアクアスの施設だけで1,300万円程度を町から支出しています。公社社員の人件費については入館料で賄っている状態です。これらを踏まえ、今の状態を続けるよりもまたさらに良い施設、少しコンパクトにはなりますが、そういう方針がよいという考え方でこの方針を持っているということをご理解いただければと思います。

○住民説明会では、町内者に限った利用というお話でしたが、町内より町外の利用が多い状況で、それでよいのかと思います。また、建物の耐震性はまだ十分あるという中で他の使い方をして建物を残すことも検討する必要もあり、解体ありきで話がすすんでいるようで、そこが気になります。

(町長) まず一点目ですが、多くの町外の方に利用いただいておりますが、逆の見方をすると、町民の税で町外の人に癒しや交流を提供しているということになります。アクアスの運営形態は、どちらかというところと娯楽レジャー施設に近い形で、税の使い方としては賛否があると感じています。新しい施設は、公共施設としての納税者である町内の利用者に主眼を置きますが、町内利用者に限る施設ではありません。ただ、町民の健康福祉の向上が目的とするため、町民の皆さんが利用していただける施設にしないといけないと思います。もう一点、建物を建て替えるというのが行政側としての方針です。いくつもの行政施設を持つというのが非常に難しい時代になってきています。人口も減少しており、生活様式も多様化しています。令和6年度の外部委員会は公開で開催しましたが、その時に別の使い方があるのではないかという議論もされ、報告書では4つ案が出ました。建て替える方法と東側、西側、南側の4つの候補地に建てる案です。それを受け、町の計画としては、建て替える案と、横に作る案の2案について閉館期間や施工性、機能性などの面から基本設計のなかで検討することとしています。

○今の施設を今後も利用するということですか。

(町長) 利用するかどうかではなくて、どのような形で建てるかということですが先ほどの2案を基本設計のなかで検討していくということにしています。議会において、壊すということに関して非常に問題があるんじゃないかということで、今の施設を長寿命化し、修繕しながら使うとどのくらいの費用がかかるのかデータをとって示すように要請されています。新たな施設は基本設計の中で概算費用を算定しますが、当然それとの比較は必要であると考えています。

○議会としては、町民が一番疑問に思っていることは、新しいものを作ったらいくらかかる

のか、収益も含め管理にいくらかかるのか。それから、今の施設を修繕しながら使っていくとしたらいくらかかるのかということだと思います。このため、町長にそのようなデータをしっかり出してもらいたいという書面を出しています。当然法外にかかるようであれば、町の経営もありますのでそれは難しいと皆さん納得されると思いますが、町民にしっかりと説明いただきたいと思います。

(町長) 多世代交流棟の維持保全については、平成29年度に作成した維持保全計画では、18億4千万円程度の費用がかかるとされています。それを時点修正し、現在の状況でどの程度か算定したいと思います。また、今後の運営については、どのような形で運営していくのかで大きく変わると思います。私は、行政として、3セクでの運営は行わない方がよいと思っています。公社は株式会社ですが、どうしても営業利益が出ず、指定管理料で赤字を埋めているという状況で、その経営の脆弱性はこれまでも議会から指摘されていたと思います。もう一点、県内でも篠栗町においては、温泉施設の改修に6億円かかるため、施設を廃止するという方針が出されています。また、福智町においては、指定管理者が経営難により撤退することで施設の一時休館が決定されています。どちらも、利用者から再考する声が出ているということですが、多くの公共施設が老朽化していく中、今後全国的に広がっていくのではないかと感じています。

○アクアスは営業利益が赤字で、営業外収益でカバーしているということは聞いています。議会の方では、建物があるうちは経営努力も必要ですが、建て替えとなると、基本的な考え方を変えていかなければならないので、そういうデータが欲しいということです。現時点では、こうすべきだと考えているところではありませんので。

(町長) はい、ありがとうございます。議会の方にはこれまでも資料の提供や説明を行ってきましたが、中長期の財政計画も見ていただく必要があるのではと思います。当然利用者や、愛着を持っている方のご意見すべてを叶えることはできませんが、なるべくあの形でというふうに思っています。ただ、行政としては財政規律が非常に大切です。そこ一線を超えてしまえばいけないと思います。現在、町の財政力指数は町村では良くも悪くもない状況です。しかし、今後人口減って、労働生産人口も減っていきます。そういったところもご議論をいただければと思います。

○当然、議会というのは、町民を代表して出ているので、今おっしゃったことを勘案の上、判断せざるを得ないと思います。単なるポピュリズムで結論を出すということは、議会としてもするつもりはありませんので、しっかりしたデータのもと判断をしたいと思っていますので、しっかり議論をしていきましょう。

(町長) アクアスの件については、議会の方には8回ぐらい説明し質疑も受けています。今後も継続しながらしっかりとやっていきたいと思っています。今までの経過についても、当然ホームページも掲載していますが、なかなか見にくいこともあるので、アクアスや

コミセンに印刷したものを配置しています。今後、基本設計の進捗経過についてもお知らせをしていく予定としています。

○町に一人乗りの電気自動車があったと思うのですが、あれはどうなったのですか。

(町長) 小型EVは6台ありましたが、商工会で使用を希望する事業者を取りまとめてもらい、希望する事業者に無償貸与という形で使ってもらっています。

○ある保育園の件では、園児がだいがん町外の保育所にも行かれているようですが、今年は大丈夫ですか。

(町長) 新年度の定員の確保はできていると思っています。昨年の〇〇保育園の件で大溝保育園では定員の2割程度多くなっていますし、また、江上保育園にも少し行っていただいている状況です。当該の保育園は、10月から20人規模で保育ができる状態であるということで、戻ってきていただければと思いますが、1度出られた先に慣れられた方などで、ほかの保護者との関係ができたりすると、転出される可能性もありますので少し不安はあります。

○ある保育園では人数が少ないから行事が全然ないそうです。園児一人に対して先生が5人ぐらいいらっしゃるけど行事がないのはどうかと聞きますが。

(町長) 私もこれまで理事長との接触ができていません。保育所については、許認可は県で、町は監査をする立場であるので、寄り添う必要があると思いますがどのような方法が適切か難しい部分があります。

○学童保育の先生たちから、今のシステムでやりにくいというのを聞きますが。

(町長) どのような意見があるのか細かくは聞いてはいないですが、担当課がアンケートなどで意見の把握をしていると思いますので確認をしておきます。

○前も言いましたけど、アクアスができたときは、何を言っても「もう決まっています」、「設計者は外国にいますからもうできません」と言われましたが、最終的には町民に聞きまわったことにされたと思っています。今回はそういうことがないようにしていただきたいです。

(町長) アクアスができたときは、私も入庁してすぐのことでしたので詳しくは承知していませんが、当時、町内利用では規模が大きすぎるのではないかと、レジャー、娯楽施設としては小さくないかということ聞いていました。今回は令和5年度から検討を始めました。議論が十分ではなかったところもあるかもしれませんが、なるべく専門家の意見と、利用者側の声を聞いた上で進めていくというスタンスは変わってません、令和9年度までは今の状態を保つということにしていますので、期間的には期間は取れているのではと思っています。